

第二十三表

アグリガン (Agrigan) 島ノ噴火

マリアナ群島中ノ一ニシテ東京ヨリ南々東ニ距ルコト殆ド五百里ニシテ富士火山帯ノ火山列島ヨリ更ニ南東ニ當ル、北緯一八度四九分、東經一四五度四〇分ニアリ。

年 (西曆)

月 日

記 事

大正六年(一九一七)

四月

帆船「カロリン」丸船長ハ四月中旬アグリガン島ノ噴火シ爆聲及ビ降灰夥シカリシヲ目撃セリト云フ。(官報一四二八號ニヨル)

第二十四表

豆南海中ノ噴火

(位置不明ノ分)

年月日

同上 (西曆)

記 事

慶長十年乙巳十二月十五日

一六〇六年 一月二十三日

慶長十年乙巳十二月十五日東洋揚波。俄開一島。(逸)十一月十五日乙卯。東海揚波。一夜中生三島(野)慶長十年乙巳十二月十五日ニ南海洪波。八丈島邊ニ於テ一夜ニ大山涌出ス今ニ至リ其山アリ。(玉露)十二月十五日南海洪濤、八丈島側、土起生一洲。(續日)慶長十年十二月十五日、南海洪波、八丈島大山一夜涌出至今。(本朝年)要スルニ八丈島附近ニ於テ海底噴火アリ一嶼ヲ生成セルナルベシ

年月日

同上 (西曆)

記事

明治三年四月

一八七〇年五月一日

地大ニ震ヒ青ケ島ヨリ辰巳(南東)ノ方二十五里ノ海中ニ一小嶼噴出ス。

(伊豆七島志、一)
(名南方海島志)

今日ノ「ベヨネーズ」礁附近ノ海底噴火ナルベシ。

明治三十八年二月

一九〇五

日本郵船會社兵庫丸船長櫻井辰之助氏ヨリ編者宛ノ書狀(三十八年三月三日附)ニ次ノ事ヲ記セリ第二十二表中ニ記セル明治三十七年十一月末ノ南硫黃島附近ノ海底噴火ニ關スルモノナルガ如シ。

……本二月航小笠原島ノ父島ニ至ルニ同島民ノ言ニ依レバ四五日以前即チ二月七八日頃ヨリ輕石ノ如キモノ非常ニ海岸ニ浮流スルコト海濱一面トノ事ニ就キ或人ニ依頼シ其一ニヲ拾ヒ持參致シ來リ……貴校マデ托送致シ候間御入手被下度又其ノ輕石ノ如キ者ハ母島海岸ニ於テモ海濱一帶浮流致シ居候ニ付或ハ島島ヨリ流レ來リタル者ニハ無之哉ノ噂ニ御座候へ共島島ニハ別條無之由本船及ビ他ノ帆船ニテ異狀ナキ事ヲ認メ候然ル時ハ或ハ硫黃島ノ邊即チ中硫黃島ニハアラザル乎トノ噂ニ有之候云々